



春の足音とともに ～ 一年の締めくくりにあたって ～

弥生3月。学校を囲む木々のつぼみがふくらみ、やわらかな日差しの中に春の気配を感じる季節となりました。寒暖を繰り返しながらも、校庭のあちこちに小さな春の兆しが見られ、心もほっと温まる思いがいたします。令和7年度も、いよいよ締めくくりの月を迎えました。



今年度、本校の最上級生として学校を力強くリードしてくれた5年生をはじめ、1年生から4年生までの子供たちも、それぞれの立場で自分の役割を果たし、この一年をともに創り上げてくれました。少人数の良さを生かし、学年を越えて関わり合いながら学ぶ姿は、本校ならではの大切な財産です。今月は、一人一人が自分の歩みを振り返り、成長を確かめる大切な時期となります。子供たちの表情は、今年度4月の頃と比べていっそうたくましく、自信に満ちたものになりました。「成長とは、自分の中の『心のエンジン』が力強く動き出すこと」という言葉があります。誰かに言われたからではなく、「やってみたい」「もっと知りたい」「誰かの役に立ちたい」という内側からの思いが力となります。この一年、子供たちは日々の授業や行事を通して、そのエンジンを少しずつ大きくしてきました。失敗して立ち止まることがあっても、友達と励まし合いながら再び歩み出した経験こそが何よりの力となっています。

ご家庭におかれましても、この一年を振り返る際には、結果だけでなく、その過程にある挑戦や努力、粘り強く取り組んだ姿をぜひ認め、励ましていただければ幸いです。「一生懸命やってよかった」「自分ならきっとできる」という、自分を信じる真つすぐな心こそが、新しい学年へと踏み出すための、一番の力になります。

年度の終わりは、新たな始まりでもあります。新年度4月からは一つ上の学年へと進み、入学する新1年生を仲間として迎えることとなります。5年生は今年度に引き続き、新6年生で雑賀崎小学校のリーダーとして、そして下級生の皆さんも学校を支える大切な存在として、それぞれの役割を担っていきます。

最後になりましたが、保護者の皆様には、この一年間、本校の教育活動に温かいご理解とご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。3月24日の3学期終業式まであとわずかです。子供たち一人一人の笑顔がさらに輝く締めくくりとなるよう、教職員一同、最後まで心を込めて努めてまいります。今後とも本校への変わらぬご支援をお願い申し上げます。

(学校長 谷口 佳都司)

◎学びの足アート展 [2/16(月)～2/20(金)]

◎冬の集会 [2/20(金)]

